様式第11号

# 「施設名」における木材の利用

## ＜みんなでつかおう「ふくいの木」＞

### 当施設に利用した木材に係る炭素貯蔵量（$CO_2$換算）

| 木材全体利用量 | | 木材全体の炭素貯蔵量 | |
|---|---|---|---|
| | 県産材利用量 | | 県産材の炭素貯蔵量 |
| ㎥ | ㎥ | t-$CO_2$ | t-$CO_2$ |

この表示は、林野庁「建築物に利用した木材の炭素貯蔵量の表示ガイドライン」（令和3年10月1日付け3林政産第85号林野庁長官通知）に準拠し、この建築物に利用した木材が貯蔵している炭素（$CO_2$換算）の量を示すものです。
〔参考〕1t-$CO_2$＝日本人1人あたりの年間$CO_2$排出量の約半分

木材は、森林が吸収した炭素を貯蔵しており、木材を建築物に利用していくことは「都市等における第２の森林づくり」としてカーボンニュートラルへの貢献が期待されています。

令和　　年　　月　　日

福井県知事　　杉本　達治